

～ アイドリングについて ～

- ❧ アイドリングとは、自動車などのエンジンに負荷をかけず低速で空転させる暖気運転のことですが、簡単にいえば自動車がエンジンをかけたまま駐停車している状態で、動かないにもかかわらず無駄にガソリンを消費している状態のことです。
- ❧ 公害の苦情でいちばん多いのが騒音と悪臭で、騒音は5年間ずっとトップをキープしている。
- ❧ 自動車の排ガスによる大気汚染はあいかわらず深刻で、都市の大気汚染の元凶である窒素酸化物を例にとると、東京では約7割が自動車から排出されているという。
- ❧ アイドリングによる騒音により、不眠（生理的障害）などを引き起こし、それによるストレス（心理的障害）が溜まっていくという悪循環により体を壊した人が何人もいるという。
- ❧ 二酸化炭素の約2割は自動車を中心とする運輸部門から排出されている。
- ❧ 自動車台数の増加などにより更に増加傾向にある。
- ❧ アイドリングは多量の二酸化炭素を排出します。
- ❧ このままでは100年後、地球全体の平均気温が約2度高くなり海面水位が50cm～1m上昇するといわれている。（日本列島が300km南に移動するのと同じ）
- ❧ “クルマが走っていない時にエンジンをかけっぱなしにすることはできるだけやめよう。” というアイドリング・ストップの取り組みが多く、県、自治体、組織、企業などで行われている。
- ❧ アイドリング・ストップは世界中で行われており、スイス、ドイツ、スウェーデンなどの国やアメリカニューヨークでは、アイドリングが法令で規制されており、市民の間にも定着しているという。
- ❧ アイドリング・ストップを実行すると、あなたは地球温暖化防止や大気汚染防止に多大な貢献をすることになり、約400万台のクルマがアイドリングを毎日10分間ずつ短縮したとすれば、1年間で、
 - ◎燃料は約20万キロリットル（ドラム缶約100万本分）
 - ◎二酸化炭素の排出量は約10万トン（日本全体の排出量の約5万人分）が削減できるという。
- ❧ 1台の乗用車で毎日1時間アイドリングをやめれば、年間約310リットル、燃料代で約3万円が節約できる。



- ❧ 2000年1月、“アイドリング・ストップは3秒でも環境に有効”と研究所より発表された。
- ❧ エンジンの始動時は排ガスの量は増え、窒素酸化物の量は、20秒強のアイドリングに相当する量になるというので、それ以上停止する場合にはアイドリング・ストップを考えてみてもよいのでは。
- ❧ 自動車のバッテリーの性能は良くなっているので、アイドリング・ストップを繰り返しても問題はないという。
- ❧ 計器盤の水温計が所定の位置（C）まで上がればアイドリングは完了です。
- ❧ アイドリングはクルマを長持ちさせる面でも、性能を万全とし安全運転する為にも必要です。アイドリングの必要性を考えた上で、『無駄』なアイドリングを避けるべきです。
- ❧ アイドリングの半数以上は無駄なアイドリングです。正しいアイドリングをしましょう。

